

りんしゅんかく ほんしゅうり ひわだ  
 臨春閣では現在、保存修理のための工事が行われています。椽皮  
 ぶきと柿葺きの屋根を葺き替える作業と、地震から建物を守り建物  
 を安全に利用できるようにするための耐震補強工事です。  
 臨春閣は江戸時代に建てられ、三溪園の創設者・原三溪によって  
 守り継がれた重要文化財建造物です。私たちは、その志を継いで未  
 永く後の世までこの宝を受け継いでいくために、これらの工事を実  
 施しています。

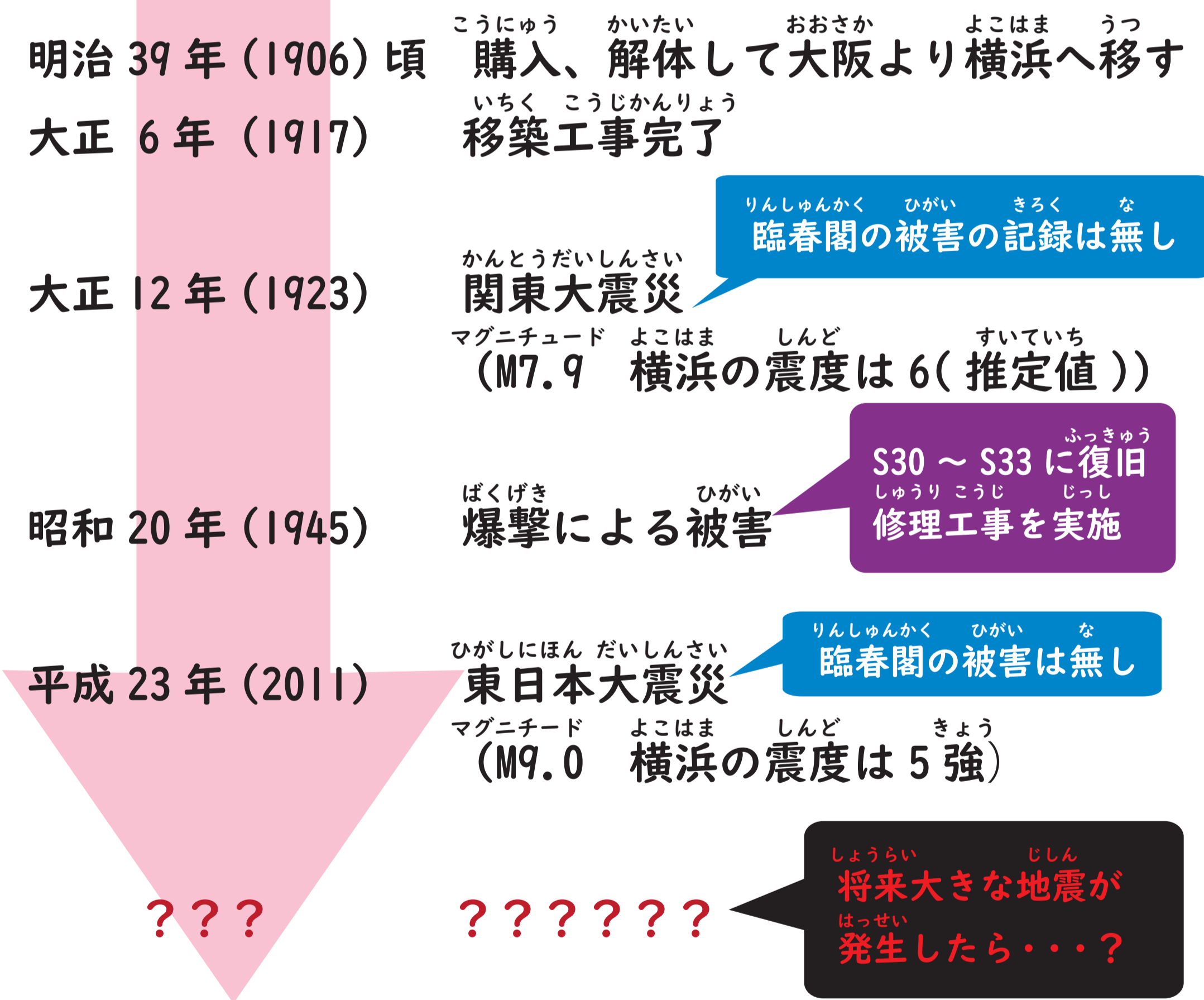
# 重要文化財 臨春閣 保存修理事業



We are working on the construction of Rinshukaku now. It is a re-roofing construction and the seismic reinforcement construction to make these villas safe to use.

Rinshukaku is an important cultural property building that was built in the Edo period and was preserved by Sankei Hara, the founder of Sankeien Garden. We are carrying out these constructions in order to inherit these treasures for a long time by taking over Sankei's will.

## りんしゅんかく りれき 臨春閣の履歴



## りんしゅんかく たいしんほきょうけいかく 臨春閣の耐震補強計画

臨春閣は重要文化財建造物です。補強工事に  
 あたっては、建物の耐震性能を向上させつつ、  
 文化財としての価値を損なわないような補強を  
 することが求められます。

「文化財としての価値」は実に様々、その全て  
 を損なわずに補強するのはとても難しい。ど  
 の価値を優先するかをじっくり考えて補強  
 を計画する必要があるよ。

旧三澤家住宅 (川崎市立日本民家園) の例

町家らしい広々とした空間を保持するた  
 め、地下に「免震装置」を設けて、建物に  
 伝わる地震の揺れを小さくし、建物自体へ  
 の補強を最低限にしています。



## たいしんほきょう 耐震補強 とは？

日本国内で建てられる建造物は、地震に耐えられる強さを持つことが法律 (建築基準法) で義務付けられてい  
 ます。しかし法律が制定される以前に建てられた建物の多くは、その基準を満たしていません。※  
 安全に建物を使い・観覧できることが続けられるために、建物が地震に耐えられる強さになるよう補強する工  
 事を「耐震補強工事」といいます。壁を頑丈にする、装置で地震の揺れを小さくする、など様々な手段がありま  
 す。  
 ※文化財建造物等の場合は、文化財としての価値が優先されるため基準の一部が免除されます。しかし建造物を  
 末永く保存し安全に利用できるようにするために、耐震補強をすることが推進されています。